



まちのホットな話題をお届けします

あさひ見聞録

叙 勲

瑞宝双光章

〔高齢者叙勲〕

(教育功労)

伊藤顯さん 88歳(三川)



昭和31年4月に教諭として奉職され、40年の永きにわたり教育活動に尽力されました。個性を尊重した学習指導に注力し、富浦小の校長在任中には、一人一人の豊かな読みの力を伸ばす国語指導の研究で成果を上げ、教育の振興と発展に貢献されました。

未来に向けて緑化運動を推進

みどりの重要性や自然環境を考える機会をつくるため、国土緑化運動ポスター原画コンクールが開催されました。千葉県教育長賞を受賞した後藤勘汰さんの作品は、全国審査会に出品されました。



千葉県教育長賞

小学校・低学年の部

後藤勘汰さん(干潟小・1年)

佳作

鍋木菜南さん(干潟小・1年)

鷲山海緒莉さん(矢指小・2年)

後藤邑輔さん(干潟小・4年)

拍手
はくしゅかつさい
喝采

出場おめでとう

【バレーボール】

大会名：JOCジュニアオリンピックカップ
第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

場 所：大阪府大阪市

期 日：令和5年12月25日～28日



男子チーム

林星那さん
(一中・3年)



石見翼さん
(海上中・3年)



女子チーム

堀川結愛さん
(飯岡中・3年)

12
20・26

災害協定を締結

新たに4社と連携し災害に備える



左から(株)ダイナム、(株)アクティオ、(株)東総コンピューターシステム、レンゴー(株)千葉工場

市では、地震・風水害などの災害が発生したときに、市民の安全と安心を確保するため、迅速な応急対応が行えるよう、民間企業4社と新たに協定を締結しました。

施設利用の協力／株式会社ダイナム
レンタル機材の提供／株式会社アクティオ
無人航空機による協力／株式会社東総コンピューターシステム
物資の供給／レンゴー株式会社 千葉工場



スターライト☆ファンタジー・飯岡灯台 恋するライトアップ

冬の夜を幻想的に彩るイルミネーション



冬の恒例イベントとなったイルミネーション。

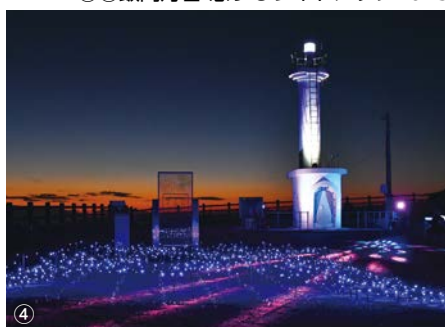
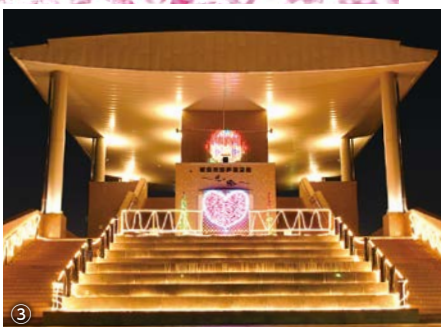
海上公民館では旭市商工会青年部による「スターライト☆ファンタジー2023」が開催され、12月17日(日)に行われた「スターライト☆フェスタ」は、多くの人でにぎわいました。

飯岡灯台「恋するライトアップ2023」では、音楽と共に7色に変化するビームライトや海の波をイメージした光が灯台周辺を彩ります。

「恋するライトアップ2023」は2月29日(木)まで開催しています。

①②スターライト☆ファンタジー2023

③④飯岡灯台 恋するライトアップ2023



10/29 11/26 12/17

10年後の旭市を考えて伝える

高校生×子育て世代×シニア世代で意見交換会

第3期旭市総合戦略の策定に当たり「10年後の旭市がこうなっていてほしい」をテーマに、旭市の未来について話し合う意見交換会が、おひさまテラスで開催されました。

市内在住の高校生や、子育て世代、シニア世代の人たちがグループに分かれて、旭市の魅力や課題、まちづくりの目標などについて、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは「お年寄りから子どもまで、いつでも行きたいところに行けるような交通網の充実したまち」「子どもが将来に希望を持ち、自分の未来を具体的に考え、それに向かって成長できる教育があるまち」「子育てしながら仕事ができる環境が充実したまち」などといった、多様な視点からの意見がありました。



世代を超えて話し合った参加者



旭市公式LINE



旭市公式フェイスブック



旭市公式Instagram



旭市公式YouTubeチャンネル



12/17

第19回旭市民駅伝大会

仲間とつなぐ 心のタスキ



市長の号砲を合図にスタートするランナーたち

東総運動場とその周辺をコースにした市民駅伝大会が開催され、小学生の部から一般の部まで71チームが参加し、絆を深めながら健脚を競い合いました。

部門別の優勝チームは次のとおりです。

小学生の部(6区間9.5km)

男子/ima kids (36分00秒)

中学生・一般の部(7区間17.4km)

中学生男子/二中陸上競技部A(1時間1分45秒)

中学生女子/二中陸上競技部女子(1時間17分02秒)

一般男子/EKIDEN MASTERS(58分08秒) ※大会新記録。

12/2

寒さを吹き飛ばす
気合の一振り

1本を狙い技を繰り出す

第61回青少年健全育成剣道大会が二中体育館で開催され、8団体・75人の小・中学生剣士による熱戦が繰り広げられました。試合場からは、日頃の鍛錬の成果を発揮しようと、剣士たちの闘志あふれるかけ声が響き渡っていました。

12/2

かけ声に合わせて
元気に餅つき

石臼ときねで昔ながらの餅つき

旭市子ども会育成連絡協議会主催の「もちつき体験」が海上キャンプ場で行われ、36人の親子が参加しました。子どもたちは「ヨイショ」と声を出しながら交代で餅をつき、熱々のうちにきな粉餅などにして味わいました。

12/7

障害者週間に
ぬくもりあふれる商品を販売

障がいのある人の社会参加意欲を高め、市民の理解を深めるために、障がい者施設で作った商品を販売する「はーとふるAsahiマルシェ」が市役所で開催。手作りの弁当や雑貨などが並び、多くの来客でにぎわいました。



初開催となったマルシェは大盛況

12/9

東総地区ゆかりの
元プロ野球選手が熱血指導

小・中学生に野球の楽しさを伝えるため、銚子市・匝瑳市と合同の東総地区三市交流野球教室が銚子市野球場で開催されました。元プロ野球選手からの指導を受けて「普段の練習でも意識して取り組みたい」と話していました。



打撃の指導を受ける

12/9

桜と笑顔が満開の
名所づくり

千葉県森林整備協会から植樹の仕方を教わる

新たな桜の名所をつくるため、市と(公財)イオン環境財団が旭文化の杜公園で植樹祭を行い、50本の山桜を植えました。ボーイスカウト旭第1団の子どもたちも参加し、元気に育つよう思いを込めて1本1本丁寧に植えていました。

12/12

北海道茅部郡森町からの贈り物
おいしいホタテを給食で提供

ホタテを食べる中和小の児童

北海道森町の「全国学校給食ホタテ提供事業」により、ホタテ約350kgの無償提供を受けました。小・中学校の給食でホタテフライとして提供され、児童たちは肉厚で立派なホタテを頬張り「毎日食べたい」と喜んでいました。